

判明

判断

入院・療養

《診療・検査医療機関》
《県保健科学研究所》
《PCR検査センター》等

☑PCR等による検査



陽性

《保健所》

☑内科的症状聞き取り
“疫学調査票”
☑産科的症状聞き取り
“【妊婦】追加聞き取りシート”

*産科的適応の判断
いずれかに該当

・妊娠37週以降※1
・性器出血有
・下腹部痛有
・陣痛有

《保健所》又は
《県入院調整本部》

◎産科的適応“あり”

☑入院先の調整

◎産科的適応“なし”

☑医学的適応なし

☑医学的適応(※2)あり

《保健所》

☑搬送(車両)調整

《保健所》

☑入院・療養先の判断
☑搬送(車両)調整
☑妊婦のかかりつけ医療機関に
協力依頼



判断

共有

《妊婦のかかりつけ医療機関等》



※1

妊娠37週以降は原則入院。例外として、
かかりつけ医を含めた各産科医療機関の判
断で外来管理とするのは可。ただし、外来
管理を許可した医療機関等で分娩を引き受
けることが決まっている場合に限る。

※2 医学的適応あり・・・
凝固障害あるいは静脈血栓症が疑われる場合
など

・妊婦のかかりつけ医等による医学的適応に応じ
た検査の実施

⇒ 入院、宿泊、自宅療養の判断
(保健所と情報共有)

入院① ※1

入院①

入院②

宿泊療養

自宅療養

《産科併設コロナ受入病院》

☑内科的観察・治療
☑産科的観察・治療

《産科なしコロナ受入病院》

☑内科的観察・治療
☑血液(血小板等)検査

《宿泊施設の看護師・医師》

☑内科的観察

《保健所》
《療養支援センター》

☑内科的観察

産科的観察・治療が必要

入院①又は外来診療

《妊婦のかかりつけ医療機関》

☑電話等による産科的観察
・10カウントテストの指導等
・頻度は症例の背景・症状に応じ判断



《熊本大学病院 総合周産期母子医療センター》

☑電話での診療助言

※相談窓口

☎096-373-7046



(参考) 変更前

陽性妊婦の対応方針

取扱注意

令和4年1月21日現在

判明

判断

入院・療養

《診療・検査医療機関》
《県保健科学研究所》
《PCR検査センター》等

☑PCR等による検査



《保健所》

☑内科的症状聞き取り
“疫学調査票”
☑産科的症状聞き取り
“【妊婦】追加聞き取りシート”

*産科的適応の判断
いずれかに該当
・妊娠37週以降
・性器出血有
・下腹部痛有
・陣痛有

《保健所》又は
《県入院調整本部》

◎産科的適応“あり”

☑入院先の調整

◎産科的適応“なし”

☑トリアージ先の調整

《保健所》

☑搬送(車両)調整

《保健所》

☑入院・療養先の判断
☑搬送(車両)調整
☑妊婦のかかりつけ医療機関に
協力依頼



判断

共有

～妊婦のトリアージ判定基準～

SpO₂ ≤ 95%※ ⇒ 酸素管理のため入院
(※気管支喘息に準じる)
・血小板数 ≤ 15万/μl ⇒ 産科へ外来診療又は入院①

◎妊娠32週未満の場合

《外来診療可能医療機関(産科の有無問わず)》

☑産科的トリアージ

↳ ☑血液(血小板、D-ダイマー)検査

又は

《コロナ受入病院(産科の有無に関わらず)》

☑中和抗体療法(適応判断→投与)

☑産科的トリアージ

↳ ☑血液(血小板、D-ダイマー)検査

◎妊娠32週以降 37週未満の場合

《産科の外来診療可能医療機関》

☑産科的トリアージ

↳ ☑血液(血小板、D-ダイマー)検査

↳ ☑分娩監視装置での胎児モニタリング

又は

《産科併設コロナ受入病院》

☑中和抗体療法(適応判断→投与)

☑産科的トリアージ

↳ ☑血液(血小板、D-ダイマー)検査

↳ ☑分娩監視装置での胎児モニタリング



入院①

入院①

入院②

宿泊療養

自宅療養

《産科併設コロナ受入病院》

☑内科的観察・治療
☑産科的観察・治療

《産科なしコロナ受入病院》

☑内科的観察・治療
☑血液(血小板等)検査

《宿泊施設の看護師・医師》

☑内科的観察

《保健所》
《療養支援センター》

☑内科的観察

産科的観察・治療が必要

入院①又は外来診療

《妊婦のかかりつけ医療機関》

☑電話等による産科的観察
(10カウントテストの指導等)

《熊本大学病院 総合周産期母子医療センター》

☑電話での診療助言

※相談窓口

☎096-373-7046(24時間)



トリアージのために外来診療※短期入院も可